

## 第9回 可児とうのう病院地域連絡協議会 議事概要

- 【日 時】 平成30年8月8日（水） 15時00分～16時00分
- 【場 所】 独立行政法人地域医療機能推進機構 可児とうのう病院 講義室（大）
- 【議 題】 1. 当院の概況等について  
2. 自由討議
- 【出席者】 熊谷 豊一 （医師会／可児医師会長）  
伊藤 陽一郎（行政・県／可茂保健所長）  
富田 成輝 （行政・市／可児市長）  
池ヶ谷 幸治（利用者／自治会長）  
島岡 孝司 （利用者／自治会副会長・代理）  
石川 民子 （利用者／自治会副会長・代理）  
岸田 喜彦 （院長）  
山田 芳彰 （副院長）  
奥村 明人 （事務部長）  
野村 郁子 （看護部長）  
平田 知也 （総務企画課長代理）

### 【概 要】

1. 当院の状況等について（パワーポイントを使用し、概要、財務経営状況、患者数について説明）
2. 自由討議

#### 【院長】

前回の議事録にもありますが、介護保険の状況について島岡様より質問いただきました。前回は市長様にご欠席であったので、改めて私からも質問させていただきたいですが、可児市における地域包括ケアシステムについて進捗や病院への要望がありましたらお伺いできませんでしょうか。

#### 【市長】

現時点では在宅医療のニーズが多いわけではありません。5年、10年といった計画では、高齢者を地域で受け入れるという仕組みが求められますが、現状は複数の施設と病院が頑張っている所以地域のニーズには応えられています。

もちろんニーズが少ないわけではないですが、元より不足する医師のマンパワーを、あえて在宅医療に向けるほどではないと認識しています。地域の方と共に勉強しながら来るべき時期に備えていきたいと考えています。

**【院長】**

今おっしゃっていただいた件ですが、在宅医療が必要な方はたくさんいると思いますが、在宅医療を希望される方がいるかという点は疑問に思っています。国は入院を減らして在宅へという方針で地域包括ケアシステムの構築を目指しているが、全国的にもまだまだ成功例は少ないと思います。JCHOとして地域包括ケアシステムの構築に向けてかじ取りを行いたいが、まだ水の無いところで船を進めようとしているイメージのため今後を心配しています。

**【利用者】**

スライドに逆紹介とありましたが、あれは医師が多忙であるため他の病院へ紹介するというのでしょうか。はたまた、病院の利益にならない患者さんを紹介したりするのでしょうか。

**【院長】**

患者を選ぶということではなくて、開業医さんと病院の役割分担という仕組みです。かかりつけ医という言葉聞いたことがあるかと思いますが、病院が紹介いただく患者さんを全部診ようと思うと、新しい患者さんを診ることができなくなってしまうため、当院が行うべき治療が終わり、症状が安定した場合、近医で診ていただく方がベストだと思っています。病院しかできないことを担当するために逆紹介を行っています。

**【利用者】**

介護予防の団体と介護者は車の両輪のように対応していかないと、介護者が不足してしまうのではないかと懸念して活動しています。これらの団体の活動の成果を何か統計的なもので示していただくことができれば、運用していくものとしては心強いです。

**【院長】**

数字としてお示しすることは難しいと思いますが、当院の職員からも様々なイベントにおいて、非常に参加率が高いという報告を受けています。定期的に活動していますので地道に続けていきたいと思いますが、どのくらい結果が出ているかというのを把握することは難しいかもしれません。

**【市長】**

本日はデータを持参していないので、機会があれば後日お示ししたいですが、1例として健康診断の受診率や介護予防のイベントへの参加率は徐々に伸びていると思います。また、国民健康保険の医療費は可児市においてあまり増えていないという結果が出ています。さらに、これらの伸び率の少なさに応じて国から報奨金が

出る仕組みがありますが、42市町村で6位という結果であったため嬉しく思っています。これを受けて保険料を5千円下げることができました。この結果からも可児市の方々の意識は高いのではないかと思いますし、このような成果をもっともっとアピールしていきたいと考えています。

#### 【院長】

当院にも健康管理センターがあるのでもっと貢献していきたいと思います。最初にも話がありましたが当協議会は行政や地域の方の意見を取り入れながら病院運営の方向性を決めていくという目的がありますので、どんどんご意見をいただければと思います。

#### 【行政・県】

紹介率が低いようには感じます。可児市の市民病院的な役割として、地域住民の方を受入れてもらえるとういと思います。

#### 【院長】

私が就任した当時はもっと低い紹介率であったが、職員の努力のおかげでかなり高くなりました。ただし、これ以上上げることは現状では難しいと思っています。やはり医師が増えるなどの変化がないと難しいですが努力していきます。

#### 【医師会】

病院に対して特別に要望があるわけではないですが、看護学生の養成は重要なことと考えていますので、病院も含めて受入を充実してほしいです。

また、他の会議等でも病院や施設の充実と言う話題が挙がっていますが、建物を建てるのは簡単でも人材の確保はそう簡単ではない。24時間対応という言葉は聞こえが良いが、本当にしっかりとした人材が確保できてサービスを提供できるか心配しています。どこまで話をするかということは難しいが、病院へは医療従事者の育成をお願いしたいです。

#### 【院長】

私が院長の職に就いてから、人の問題は一番の課題のままです。看護師については何とか確保をしてきましたが、医師の確保については厳しい状況であったし、今後もますます拍車がかかるのではと心配しています。

#### 【利用者】

家族も受診していましたが、可児とうのう病院は医師が変わってしまうということで他院に転院となりました。他の方の話を聞いても担当医がよく変更になるという話もよく聞きますので、そのあたりのご努力をお願いしたいです。

### 【院長】

医師が変わるということは全国的に共通のこと。当院においても長く変わらない医師は高齢な医師が多い。反対に若手の医師がライフワークとして自身の技量を磨くためにもローテーションすることは良いことであると認識しています。そういう意味でも、先ほど説明した開業医さんにフォローをお願いすることは、患者さんの状態を長く見守ることができるというメリットがあると思います。

### 【利用者】

私たちが運営するサロンでは、地域包括支援センターにお願いして講座を開催していただき、参加者の大きな勉強の場になっていきますことを厚く御礼申し上げます。以前は長寿会という高齢者の集いの場がありましたが自然消滅してしまったため、高齢者の拠り所を作ろうと活動を始め、延べ12年間栄町自治会の専門部会として活動することができています。当初は土田地区住民に限定していましたが、現在は可児市民まで拡大して活動しています。介護予防活動が高齢者にとって重要であると認識しているので、今後ともご支援、ご協力をお願いしたいです。

### 【院長】

可児市全体に拡大されていることは素晴らしいと思います。この地域で活動いただきありがとうございます。

### 【利用者】

以前テレビで、連帯保証人がいないため手術が受けられないという独居老人が全国的に増えている問題が報道されていました。可児とうのう病院だけの問題ではないと思うが個人的には心配していますがいかがでしょうか。

### 【院長】

独居の方への対応はもちろん行政も力を入れていると思います。当院においては、緊急時は治療を優先するため、家族と連絡が取れないため手術を行わないということはないと思います。予定手術等時間的に余裕がある場合はもちろん家族の方に連絡を取るという対応を行っています。

### 【市長】

医師不足は全国的な問題であるが、例外なくこの地域にも当てはまります。残念ながら東京一極集中の状態です。専門医制度の変更も予定されているが、大きな病院への偏在を生み出すと心配しているため、行政の対応が必要であると思います。

行政としては医師、看護師、介護士の確保が一番の課題であると考えています。特に介護者の人材については海外の方の受入という方法も検討していかないと

けないと思います。可児とうのう病院においても、地域の方からみて不満に思う時もあるかもしれませんが、人材不足で対応されている現状も皆さんが知っていただけるとありがたいです。

**【行政・県】**

新型インフルエンザの海外発生や国内の発生初期の対応として、感染症外来の設置を検討していただきたい。特に帰国者、濃厚接触者の診察については現在圏域で2箇所と対応する施設が少ないです。

人口10万人あたり1箇所確保したいという国や県の行動計画もあるため、医師不足の状況もありますがぜひ可児とうのう病院において検討いただけるとありがたいです。

**【市長】**

近隣で増えているという現状があるのでしょうか。

**【行政・県】**

決して今流行しているというわけではありませんが、流行は突然発生しますので、早目の備えができればと思っています。

**【院長】**

この件につきまして後日直接相談させていただきます。それでは、ちょうど時間となりましたのでこれで終了させていただきますが、次回は2月頃の開催を予定しております。また、議題についてアンケート等でご意見を伺わせていただくかもしれませんのでご協力をお願いします。

(事務局より市民公開講座の広報を報告)

**【院長】**

それでは、以上で終了とさせていただきます。皆さまありがとうございました。

(終了 16:00)